

# 令和元年度 秩父市内企業操業状況調査報告書

## 1. 調査概要

### (1) 目的

本調査は、秩父市内で操業中の企業を対象に実施するものであり、令和元年7月1日現在の操業状況を具体的に把握し、産業振興並びに雇用対策を図るための基礎資料とすることを目的とするものである。

### (2) 対象者と調査方法

これまで毎年調査対象としてきた市内操業企業（59社）に、今年から新たに秩父市建設工事等入札参加申請登録事業者及び同物品等入札参加申請登録事業者（令和元年7月1日時点）のうち市内に事業所等のある事業者を加えた計455社に調査票を配布し、電子申請共同システム（インターネット）又はFAXによる回答を依頼した。

### (3) 調査の期間

令和元年7月12日（金）から7月31日（金）までの19日間

### (4) 回答結果

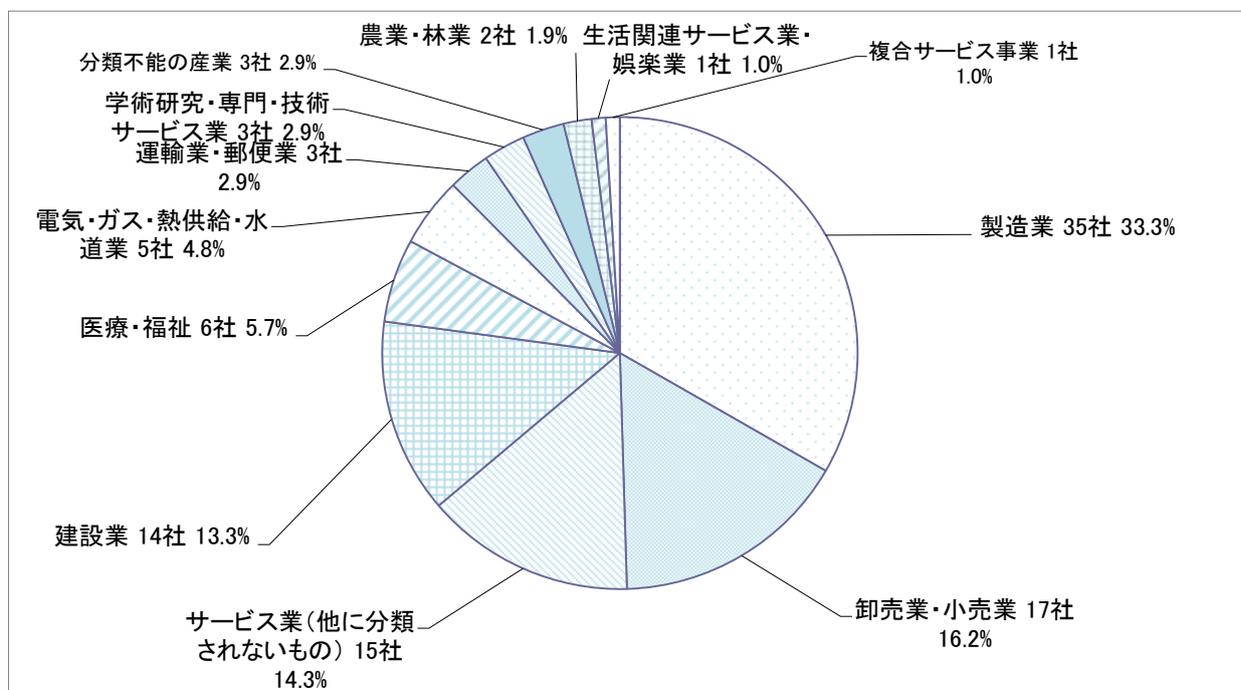
455社へ照会し105社から回答が得られた。（回答率23.1%）

※ 参考：平成30年度実績 対象59社、回答率72.9%

## 2. 調査結果

### 【業務の種類について】

（回答数：105社/105社）

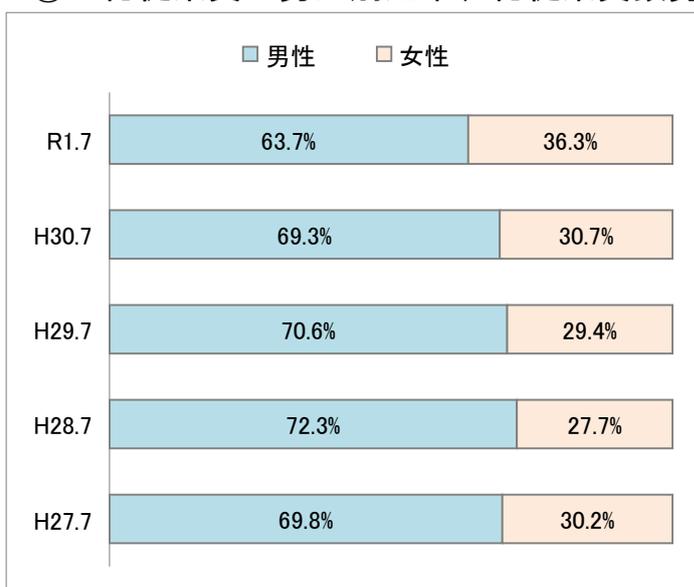


最も多くの回答を得たのは、製造業 35社（33.3%）、次いで卸売・小売業 17社（14.3%）、サービス業（他に分類されないもの） 15社（14.3%）、建設業 14社（13.3%）と続いた。（現行「日本標準産業分類」に基づく分類）

## 【従業員の構成等について】

(回答数：103社/105社)

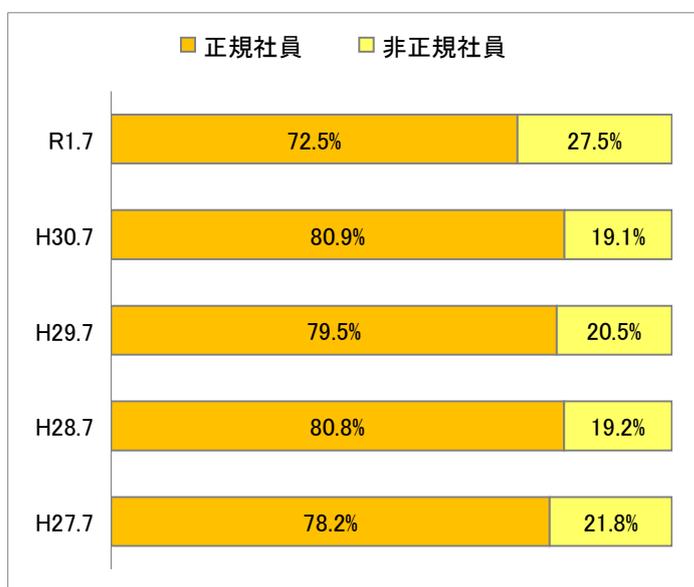
### ① 総従業員の男女別比率、総従業員数男女別内訳



総従業員数	3,968人
男 性	2,527人
女 性	1,441人

回答を得た103社の総従業員数は3,968人で、内訳は男性社員が2,527人（63.7%）、女性社員が1,441人（36.3%）であり、全体の約6割が男性である。

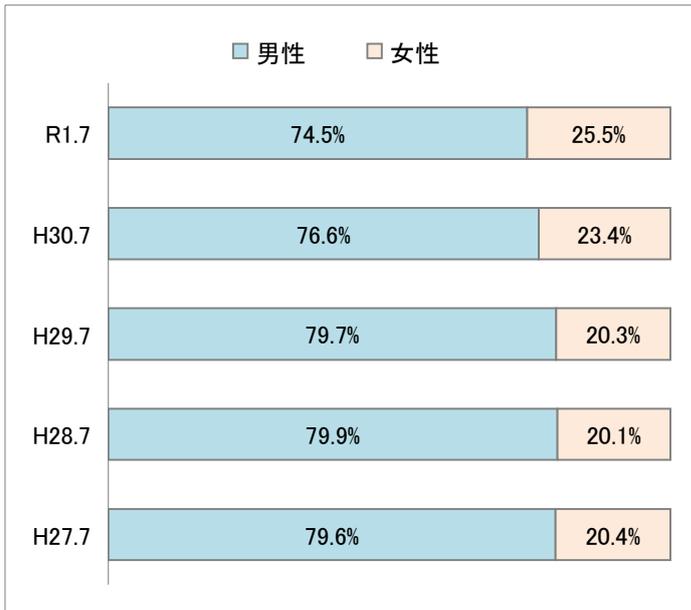
### ② 総従業員の正規・非正規社員内訳



総従業員数	3,968人
正規社員	2,877人
非正規社員	1,091人

総従業員の正規・非正規社員の構成比は、正規社員が72.5%、非正規社員が27.5%であり、全体の約7割が正規社員である。

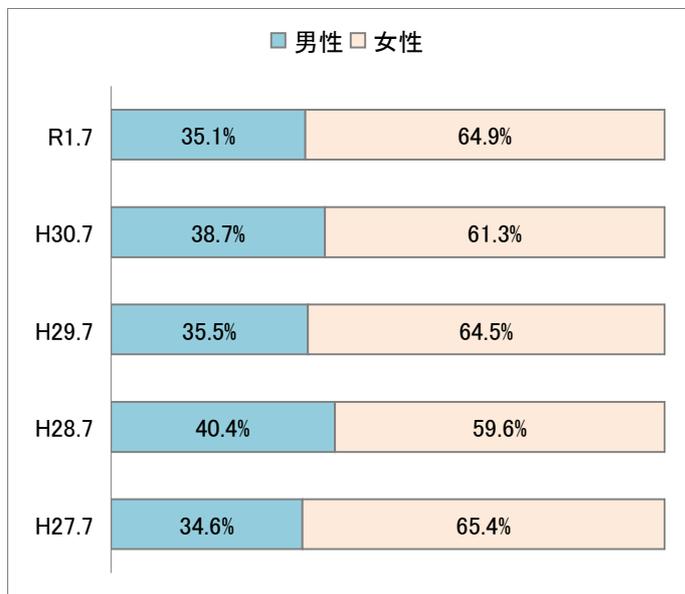
### ③ 正規社員の男女別内訳



正規社員数	2,877人
男 性	2,144人
女 性	733人

正規社員では、男性が2,144人（74.5%）、女性が733人（25.5%）となっており、全体の四分之三が男性である。

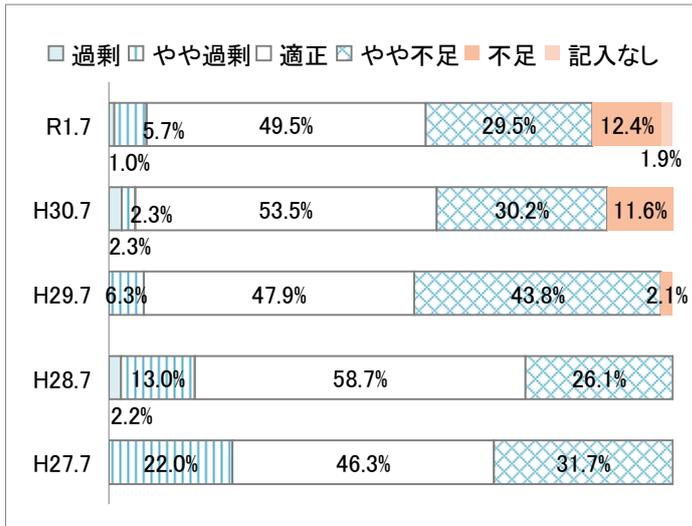
### ④ 非正規社員の男女別内訳



非正規社員数	1,091人
男 性	383人
女 性	708人

非正規社員では、男性が383人（35.1%）女性が708人（64.9%）で、正規社員とは逆に全体の6割以上を女性が占めており、男女別の構成比については、おおむね6：4の割合で推移している。

## 【Q1-1】従業員の過不足感について

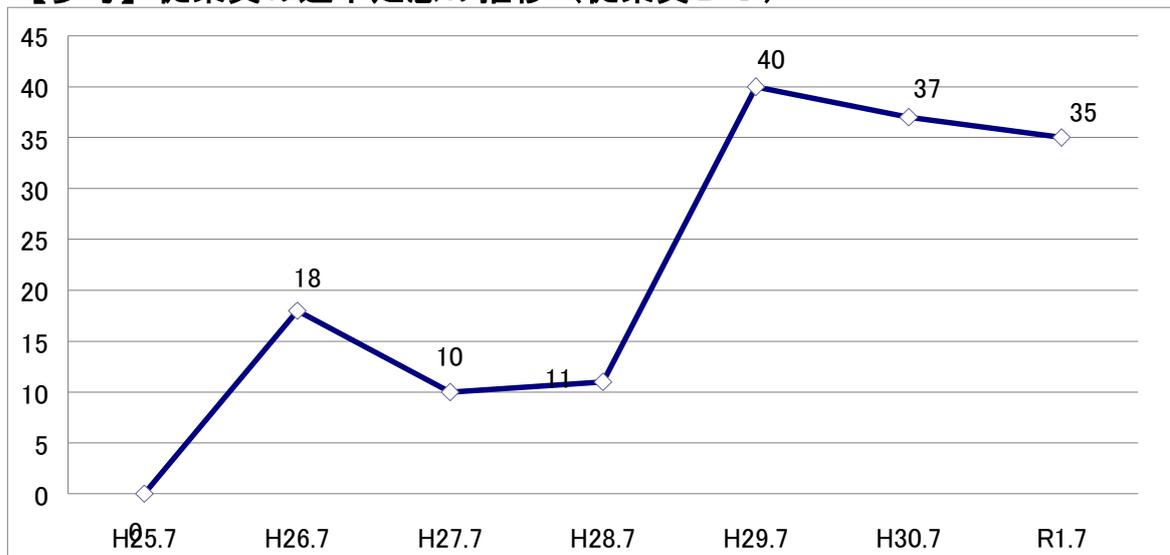


過	剰	1社
や	や 過 剰	6社
適	正	52社
や	や 不 足	31社
不	足	13社
記	入 な し	2社
合	計	105社

従業員数について「適正」と回答した企業は49.5%（52社）と最も多く、「過剰」・「やや過剰」は6.7%（7社）、「やや不足」は29.5%（31社）、「不足」は12.4%（13社）であった。

前年同期（平成30年7月1日現在）では「適正」の割合は53.5%、「過剰」・「やや過剰」の割合は4.7%、「不足」・「やや不足」は41.9%であった。

## 【参考】従業員の過不足感の推移（従業員DI）

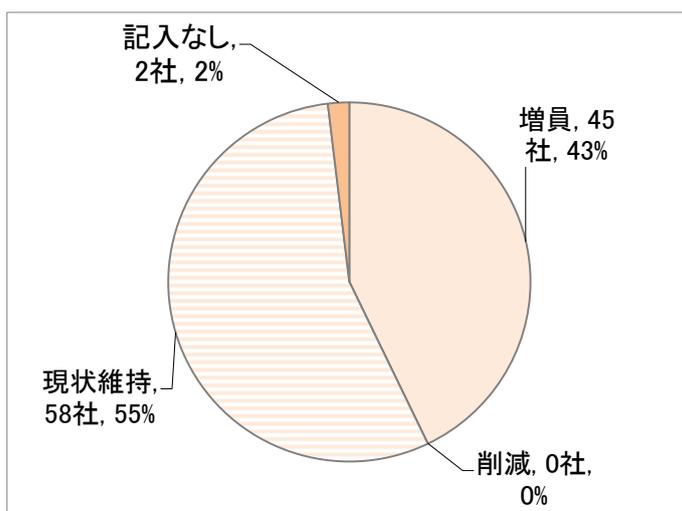


不足（「不足」「やや不足」）の回答割合－過剰（「過剰」「やや過剰」）の回答割合＝DIとし、従業員の過不足感の推移を表したのが上のグラフである。

平成23年7月にマイナスを示しましたが、平成24年以後はプラス傾向で推移し平成26年調査時には大きくプラスに転じました。平成27年の調査においてポイントを下げたものの、平成29年の調査調査では大きくプラスの値を示しました。今期も同様に人手の不足感は強まっている。

※DI=diffusion index（ディフュージョン・インデックス）の略で、景気・業況等の動きを示す指数。

### [Q1-2, 3, 4] 今後の従業員の増減について

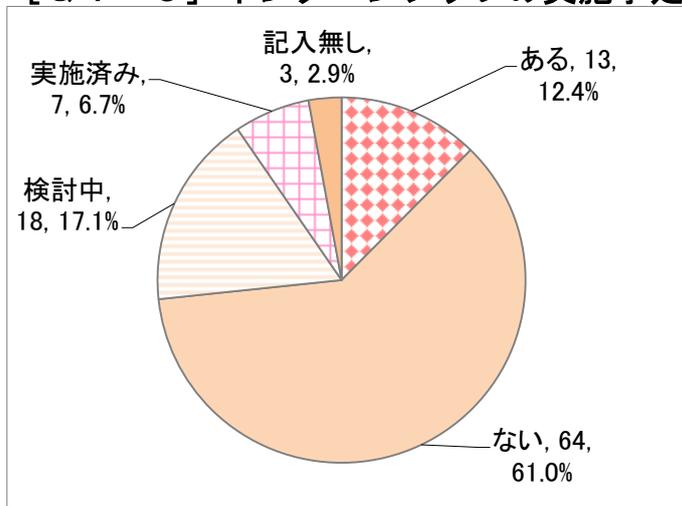


増員	45社
削減	0社
現状維持	58社
記入なし	2社
合計	105社

今後の従業員の人数については、「現状維持」とする企業が58社、全体の約5割以上を占めた。

また「増員」と回答した45社（全体の約4割）の企業が採用予定としているのは、正規社員が34社、正規社員及び非正規社員が3社となっており、採用対象の内訳は、令和2年3月高校卒業予定者が12社、大学卒業予定者が1社、令和2年3月高校及び大学等卒業予定者が7社、その他として中途採用等を検討している企業が8社となった。

### [Q1-5] インターンシップの実施予定について

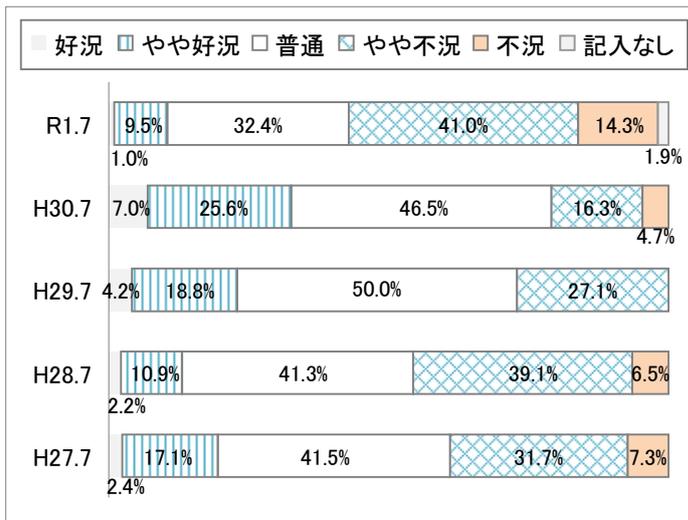


ある	13社
ない	64社
検討中	18社
実施済み	7社
記入無し	3社
合計	105社

人材確保のためのインターンシップの実施予定については、13社（12.4%）が「ある」と回答しており64社（61.0%）が「ない」と回答しています。「検討中」と回答している企業は18社（17.1%）であった。

また、すでに「実施済み」と回答したの企業は7社で、「ある」及び「実施済み」の合計は20社で全体の約2割を占めた。

## 【Q2-1、2】経営動向・景況感について



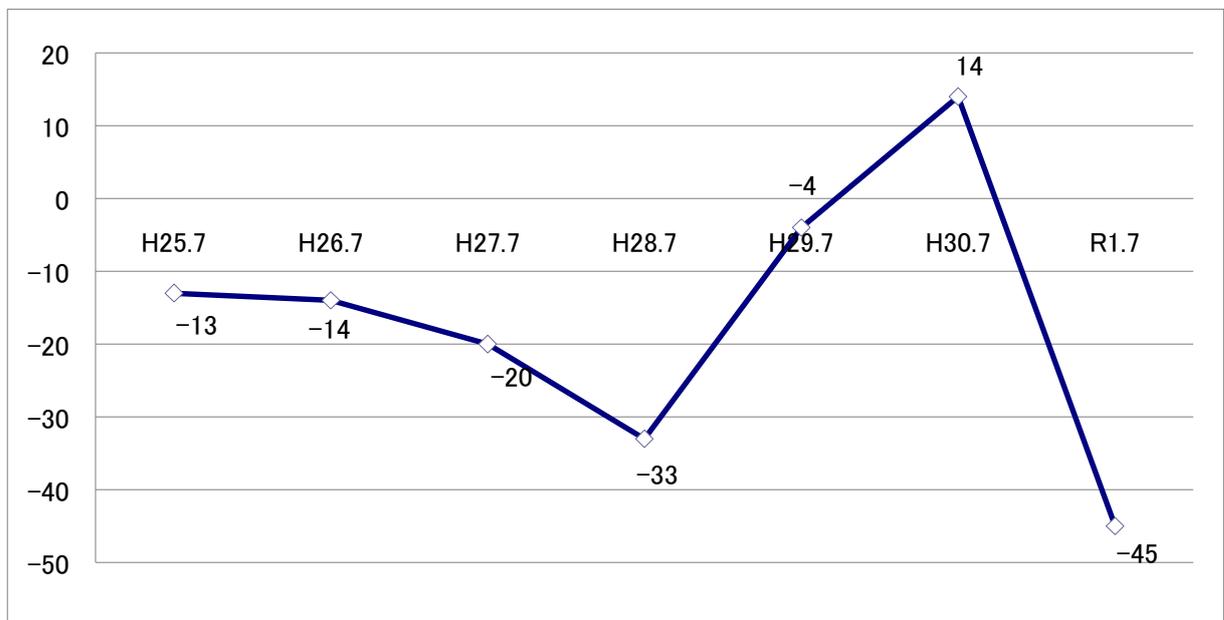
好況	1社
やや好況	10社
普通	34社
やや不況	43社
不況	15社
記入なし	2社
合計	105社

調査日現在における景況感について、全体の55.2%が「不況」・「やや不況」、また、10.5%が「好況」・「やや好況」と回答しています。前年同期の調査では全体の20.9%が「不況」・「やや不況」、32.6%が「好況」・「やや好況」との回答であった。

前年の結果と比較すると、「不況」・「やや不況」の回答率が34.3%増となり、「好況」・「やや好況」の回答率が22.1%減となっている。

「不況」・「やや不況」と回答した企業にその理由を聞いたところ、「内需の低迷」を理由に挙げた企業が53.4%と最も多く、次いで「原材料・商品などの仕入れ価格の上昇」25.9%、「労働力需要のひっ迫（人手不足感）」17.2%と続いた。また、「その他」として、少子化や人口減、ネット販売等による流通の変化などを挙げる企業は24.1%であった。

### 【参考】経営動向・景況感の推移（景況感DI）

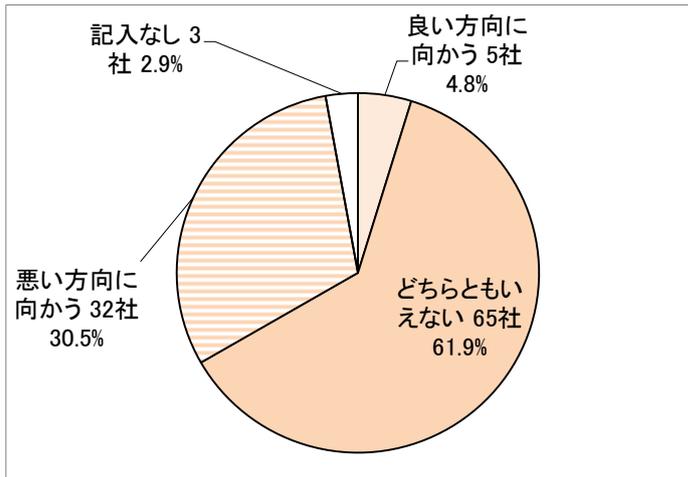


好況（好況・やや好況）の回答割合－不況（不況・やや不況）の回答割合＝DIとし、経営動向・景況感の推移を表したのが上のグラフである。

平成23年3月の東日本大震災後、平成24年の景況感はいマイナス35ポイントを示し、その後マイナスが続きましたが昨年は14ポイントと大幅に回復した。

しかしながら、今期は平成24年を更に下回るマイナス45ポイントとなった。

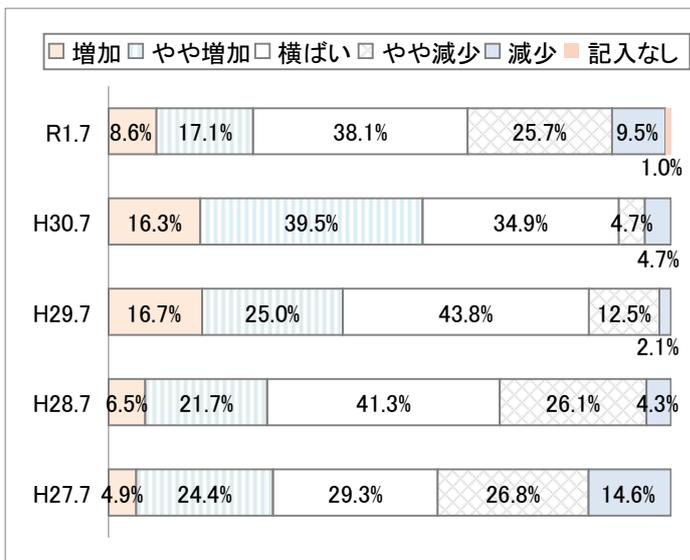
### 【Q2-3】 今後の景気見通しについて



良い方向に向かう	5社
どちらともいえない	65社
悪い方向に向かう	32社
記 入  な  し	3社
合 計	105社

最も多い回答は「どちらともいえない」の65社（61.9%）で、次いで32社（30.5%）が「悪い方向に向かう」と回答しており、景気の先行きについては悲観的な見通しを示している。

### 【Q3】 売上高対前年同期比について

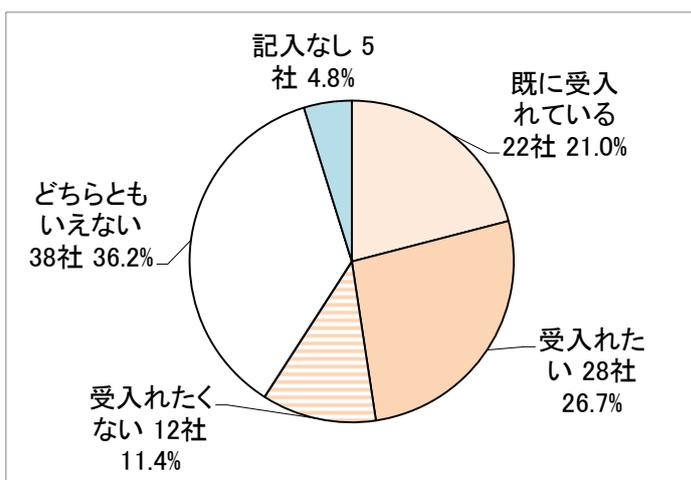


増 加	9社
や や 増 加	18社
横 ば い	40社
や や 減 少	27社
減 少	10社
記 入  な  し	1社
合 計	105社

前年同期比の売上高については、「減少」・「やや減少」が37社で全体の約3.5割を占めており、昨年まで続いていた「増加」・「やや増加」の伸びは大きく減少した。

※以下、今年からの新規項目。

### 【Q4-1、2】セカンドキャリアの受入れについて



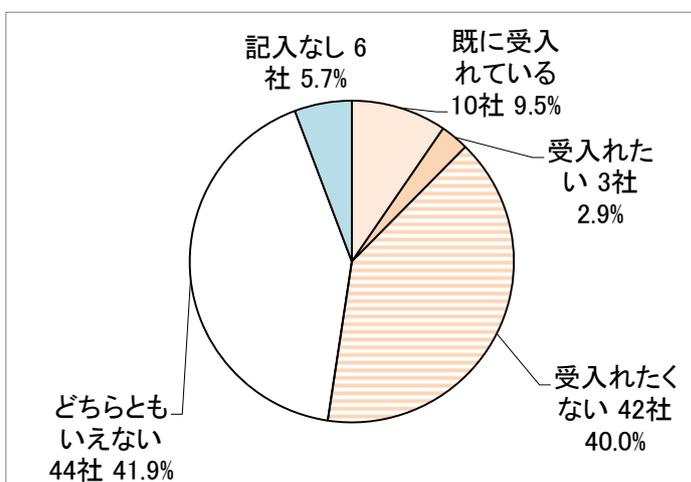
既に入れている	22社
受入れたい	28社
受入れたくない	12社
どちらともいえない	38社
記入なし	5社
合計	105社

他の企業等で活躍した方を自社戦力として受け入れ、その豊富な経験を最大限に活用してもらう「セカンドキャリア」の受入れについては、「既に入れている」と回答した企業は22社で全体の2割であった。

また、「既に入れている」・「受け入れたい」を合わせた回答は50社（47.6%）で、おおむね半数の企業が受入れに積極的なことが読み取れる。

「セカンドキャリア」の活用イメージについてきいたところ、資格や専門技術を活かした即戦力としての活用や、若手の育成など、これまでの経験を活かした受入れイメージのコメントが寄せられた。（別紙1参照）

### 【Q5-1、2】海外人材の受入れについて



既に入れている	10社
受入れたい	3社
受入れたくない	42社
どちらともいえない	44社
記入なし	6社
合計	105社

海外人材の受入れについては、「既に入れている」と回答した企業は10社で全体の1割にとどまる一方で、「受け入れたくない」と回答した企業は42社で全体の4割に上った。

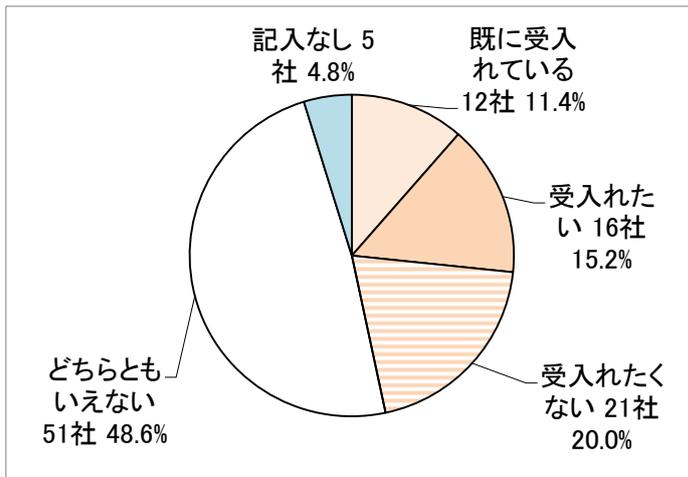
「既に入れている」と回答した10社はいずれも製造業社であり、製造業全体の約3割であった。

一方で、「受け入れたくない」との回答割合が多かったのは卸売業・小売業で（13社、76.5%）、業種により偏りがみられた。

なお、「既に入れている」との回答の中では、国籍をベトナムとした企業が3社、その他カンボジア、インドネシアが各1社であった。

「日本語教育に関するニーズ」や「技能実習に関するニーズ・イメージ」についてフリーコメントで聞いたところ、日本語の能力への不安や異なる生活習慣・文化に対する不安を寄せるコメントが寄せられた。（別紙2参照）

### 【Q6-1、2】移住者の受入れについて



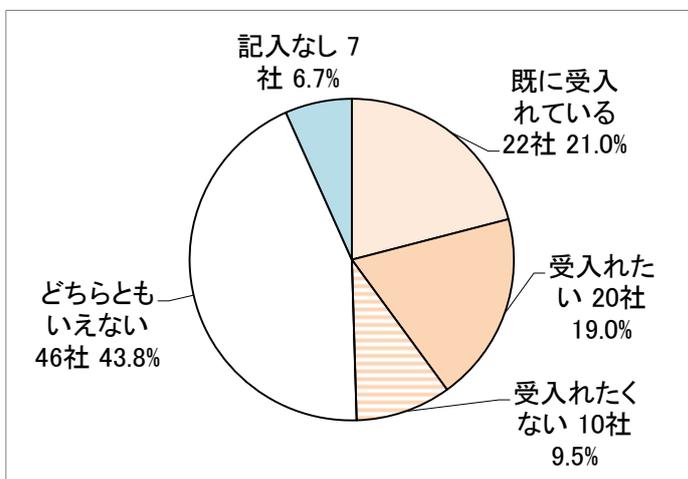
既に受入れている	12社
受入れたたい	16社
受入れたくない	21社
どちらともいえない	51社
記入なし	5社
合計	105社

秩父地域外からの移住者の雇用については、「既に受入れている」・「受入れたたい」は28社で全体の四分の一程度であった。

業種別には、「既に受入れている」と回答した12社中9社、「受け入れたたい」とした16社中7社が製造業であった。

移住者に求めるスキル・年齢層等についてフリーコメントできいたところ、専門技術や資格を有する即戦力で、30代から40代後半の中堅どころの人材を求める声が寄せられた。（別紙3参照）

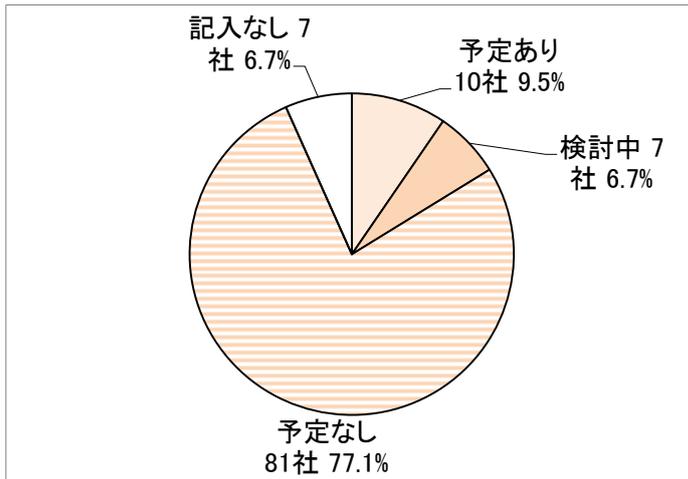
### 【Q7-1】アラフォー世代（就職氷河期世代）の受入れについて



既に受入れている	22社
受入れたたい	20社
受入れたくない	10社
どちらともいえない	46社
記入なし	7社
合計	105社

非正規労働者率の高いアラフォー世代の受入れについては、「既に受入れている」・「受入れたたい」は42社で全体の4割であった。特に製造業や建設業、医療・福祉で「既に受入れている」・「受入れたたい」と回答した割合が高く見られた。

### 【Q8-1、2】新規事業への取組みについて

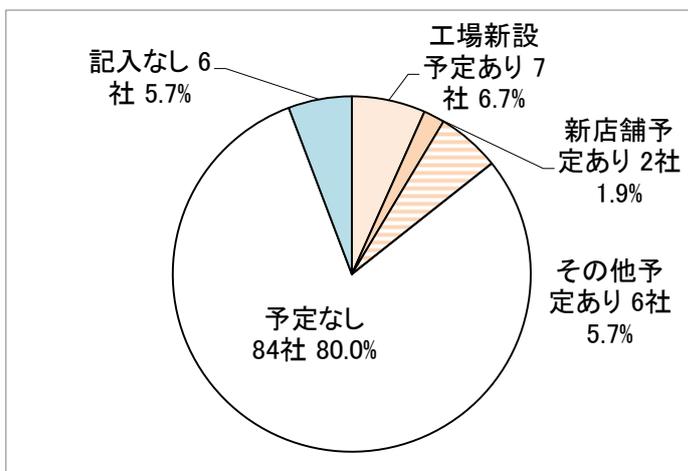


予 定 あ り	10社
検 討 中	7社
予 定 な し	81社
記 入 な し	7社
合 計	105社

新規事業に取り組む「予定あり」・「検討中」と回答したのは17社で、業種別には製造業が6社と最も多く、次いで医療・福祉と建設業が各3社であった。

新規事業に取り組む上で、期待する支援についてフリーコメントできいたところ、補助金等の経済的支援のほか、フィールドとして市有地の提供、マッチング、周辺住民との対話のサポートなども要望として挙げられた。（別紙4参照）

### 【Q8-3】設備投資（工場新設、新店舗の計画等）の予定について



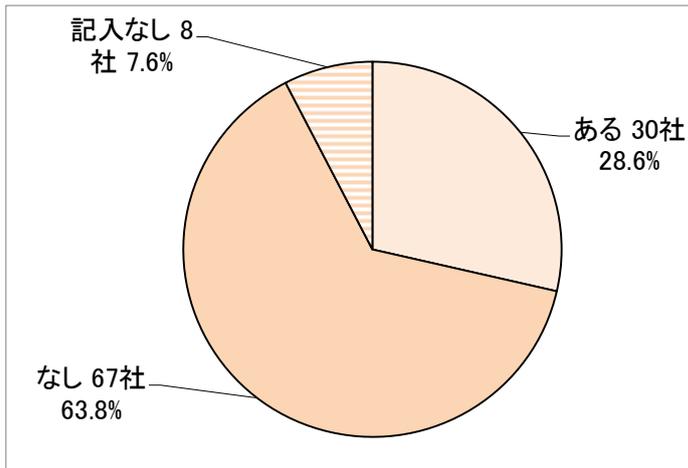
工場新設予定あり	7社
新店舗予定あり	2社
その他予定あり	6社
予 定 な し	84社
記 入 な し	6社
合 計	105社

「工場新設予定あり」と回答したのは7社で、製造業が5社と最も多く、次いで農業・林業と医療・福祉の各1社であった。

「新店舗予定あり」と回答したのは2社で、卸売業・小売業と医療・福祉の各1社であった。

「その他予定あり」と回答したのは6社で、事務所の新設、移転、備品の購入などであった。

## 【Q9-1】事業承継について



事業承継に課題

あ	る	30社
な	い	67社
記	入	なし
合	計	105社

事業承継に課題があるか聞いたところ、「ある」と回答した企業は全体の約3割である30社だった。

その内容は、後継者不在、人材育成、技術者不足など多岐にわたった。（別紙5参照）

## 【Q10-1、2】秩父市の企業支援について

利用したい企業支援メニュー（複数回答可）

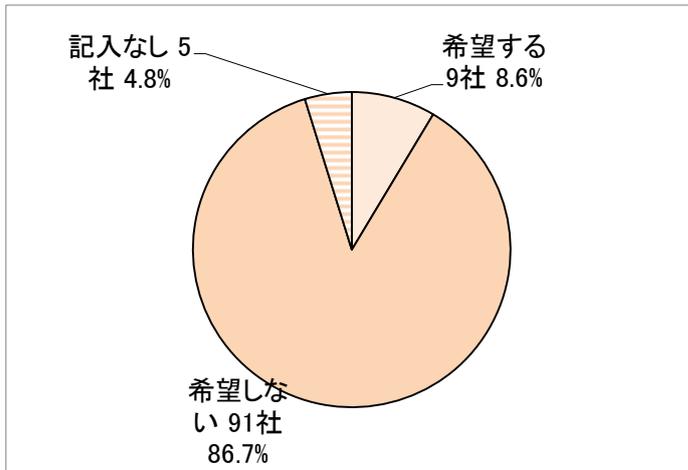
金融支援事業	17社
水道多量使用事業補助金	12社
販路開拓支援事業補助金	10社
認証取得支援事業補助金	7社
埼玉県よろず支援拠点	6社
先端産業育成補助金	5社
訪問型企業支援（産学官連携コワーキングスペース・中小企業応援プロジェクト事業）	5社
創業支援事業（ちちぶ地域操業サポート窓口・ちちぶ創業塾）	5社
がけ地整備事業費補助金	4社
市職員による企業訪問（御用聞き）活動	4社
経営革新計画承認企業奨励金	3社
その他	4社

市の主な企業支援メニューのうち、利用したいものを聞いたところ、希望の多い順に「金融支援事業」17社、「水道多量使用事業補助金」12社、「販路開拓支援事業補助金」10社となった。

なお、「その他」には、雇用の促進や空き倉庫の利用に関する問合せが寄せられた。

市職員や専門家（中小企業診断士等）による、企業支援メニューの説明を希望した企業は8社あり、市企業支援センターと中小企業診断士等による対応を実施中である。

[Q 1 1 - 1] 秩父おもてなしTV (YouTube) への出演について



希 望 す る	9社
な い	91社
記 入 な し	5社
合 計	105社

秩父市イメージキャラクター「ポテくまくん」による秩父おもてなしTVでの企業紹介への出演を希望した企業は9社であった。(商工課で対応中。)